

日田市中小企業振興計画の数値目標・重要業績評価指標（K P I）の達成状況
（平成30年度分）

●達成状況総括	
K P I 設定項目数	31件
H30目標"達成"件数	16件
H30目標"未達成"件数	15件
内、達成度 80%以上	6件
内、達成度 50%以上 80%未満	6件
内、達成度 50%未満	2件
内、達成度が測れないもの	1件

日田市商工観光部 商工労政課・企業立地推進室

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
1	経営基盤の安定強化	日田市ビジネスサポートセンターの年間相談件数（回）	－ H28年6月開設	2016(H28)	720回	637回	88.47%	中小企業支援コーディネーターの一日2名体制により、面談にとどまらず、電話や訪問などのアフターフォローなど、きめ細かい相談体制により目標を達成することができた。	720回
				2017(H29)	720回	641回	89.03%		
				2018(H30)	720回	728回	101.11%		
		商工会議所・商工会の年間相談・指導件数（件） （うち窓口相談件数）	4,093件 (1,570) (H26年度)	2016(H28)	4,200件 (1,800)	4,904件 (1,957)	116.76% (108.72)	九州北部豪雨後に積極的な被災地域の事業者支援を重点的に行ったことや、巡回指導を強化したことで、巡回相談指導件数は増加した反面、窓口相談指導件数は減少したものと考えられる。今後も、日田市ビジネスサポートセンター等と連携して相談を行う	4,200件 (1,800)
				2017(H29)	4,200件 (1,800)	4,429件 (1,745)	105.45% (96.94)		
				2018(H30)	4,200件 (1,800)	4,431件 (1,533)	105.50% (85.17)		
		市の融資制度の年間融資件数（件）	119件 (H26年度)	2016(H28)	150件	100件	66.67%	前年度とほぼ同件数ではあるが、以前と比較すると増加の傾向にある。引き続き、金融機関、支援機関等と連携し、支援を行っていく。	150件
				2017(H29)	150件	129件	86.00%		
				2018(H30)	150件	128件	85.33%		
		市外での物産展等への年間出店事業者数（社）	8社 (H26年度)	2016(H28)	15社	28社	186.67%	大丸福岡天神店の特設会場やイオン九州の店舗内特設会場、鶴屋百貨店等でのイベント開催により、目標値は達成した。今後も、日田玖珠地域産業振興センターを通して市内の事業者に催事への出店を呼び掛けていく。	20社
				2017(H29)	15社	40社	266.67%		
				2018(H30)	20社	24社	120.00%		
		日田市アンテナショップ 大丸福岡天神店での年間売上額（億円）	－ H27年6月開設	2016(H28)	1億円	1.06億円	106.00%	青果物についてはJ Aおおいたとの連携により、一定量の供給が確保できている。今後もショップの情報を生産者に還元しながら、売上アップを目指していくとともに、加工品等の新商品の提案を行いながら売り場の活性化を図っていく。	1億円
				2017(H29)	1億円	1.08億円	108.00%		
				2018(H30)	1億円	1.06億円	106.00%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
2	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出	商店街の平均空き店舗率(%)	12% (H26年)	2016(H28)	12%	15%	未達成	チャレンジショップを利用した創業は一定程度あるものの、空き店舗率は改善していない。今後は空き店舗をリノベーションすることにより、地域の賑わい創出に取り組む事業を支援していく。	9%
				2017(H29)	11%	15%	未達成		
				2018(H30)	10%	16%	未達成		
		家具・装備品製造業の年間製造品出荷額等 (百万円)	5,102百万円 (H25年)	2016(H28)	5,303百万円	5,509百万円	103.88%	家具の製品出荷額は新設住宅着工の影響を受けやすいが、その影響はタイムラグを伴って現れてくると考えられている。H27の新設住宅着工件数は全国的に前年と比べ若干のプラスとなったが大きな影響はなく、H28の製品出荷額はほぼ横ばいとなっている。今後も家具の産地としてのPRを行い、日田家具のブランド化を推進する。	5,513百万円
				2017(H29)	5,372百万円	5,113百万円	95.18%		
				2018(H30)	5,442百万円	5,104百万円	93.79%		
		小売業年間商品販売額(百万円)	63,499百万円 (H26年)	2016(H28)	平成30年度に調査を実施		-	ドラッグストアの出店による医療品・化粧品や自動車・機械器具関連の小売りの伸びが大きく、他の小売業を引っ張ったものと思われる。今後は、中小店の消費喚起を促す施策を検討する。	66,674百万円
				2017(H29)	65,401百万円	66,429百万円	101.57%		
				2018(H30)	65,401百万円	66,429百万円	101.57%		
		市内商店街での購買シェア (%) (※H29調査が最終となる。)	16.9% (H26年度)	2016(H28)	平成29年度に調査を実施		-	郊外の大規模店の出店による影響から、市内中心商店街での購買シェアは年々落ちており、郊外大規模店での消費者の購買行動が定着しつつある。また、日田市外等への買い物も増加傾向にある。今後も商店街と連携し、購買シェアの維持に努める。	16.9% (H29年度)
				2017(H29)	16.9%	15.5%	91.72%		
				2018(H30)	-	-	-		
		木材・木製品製造業(家具を除く)年間出荷額(百万円) 【林業振興課】	14,660百万円 (H25年)	2016(H28)	15,380百万円	15,674百万円	101.91%	出荷額の増加は、乾燥木材の生産量の増加とともに国産材の品質が向上し、外国産材から国産材への需要拡大が影響したものと考えられる。今後も日田材のブランド化や施設整備により需要拡大を図る。	16,100百万円
				2017(H29)	15,620百万円	12,853百万円	82.29%		
				2018(H30)	15,860百万円	16,387百万円	103.32%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
2	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出	市の建設工事の市内業者発注件数割合 (%) 【契約検査室】	94.5% (H27年度)	2016(H28)	94.5%	95.6%	101.16%	市外業者は特殊案件に限り入札参加を認めていく。	94.5%
				2017(H29)	94.5%	96.5%	102.12%		
				2018(H30)	94.5%	97.3%	102.96%		
		市の物品の市内業者発注件数割合 (%) 【契約検査室】	79.0% (H27年度)	2016(H28)	79.0%	73.4%	92.91%	市内業者取り扱いの出来ない物品があるため。今後も市内業者優先の推進(周知)を図っていく。	79.0%
				2017(H29)	79.0%	68.5%	86.71%		
				2018(H30)	79.0%	68.8%	87.09%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
3	経営の拡大及び新分野への進出の促進	日田市工業連合会の会員企業数 (社)	226社 (H26年度)	2016(H28)	232社	233社	100.43%	団体会員である木材協同組合の会員数や、一般会員の企業数が減少したことによるもの。今後も異業種交流の促進を支援していく。	235社
				2017(H29)	233社	229社	98.28%		
				2018(H30)	234社	226社	96.58%		
		既存誘致企業の増設及び新規立地件数(件) 累	2件 (H26年度)	2015(H27)	1件	3件	300.00%	達成。新規企業の誘致が2件、既存企業の増設が10件あり、目標を達成できた。 今後も優遇制度の周知を図り、既存企業の増設を推進するとともに、平成30年度に策定した企業誘致総合戦略に基づき、新規企業の誘致に取り組んでいく。	5年間で12件
				2016(H28)	4件	3件	75.00%		
				2017(H29)	3件	3件	100.00%		
				2018(H30)	2件	3件	150.00%		
				4か年累計	10件	12件	120.00%		
		企業誘致等による新規雇用者数 (人) 累	42人 (H26年度)	2015(H27)	20人	53人	265.00%	達成。2018年度は人手不足等から企業の採用計画に対し十分な人材確保が難しい状況にあり、単年度の目標は達成できなかったものの、4か年累計では新規企業の誘致や既存企業の増設による雇用増により、目標を達成できた。 今後も企業が積極的に採用できるような環境整備を図っていく。	5年間で147人
				2016(H28)	22人	43人	195.45%		
				2017(H29)	45人	76人	168.89%		
				2018(H30)	30人	27人	90.00%		
				4か年累計	117人	199人	170.01%		
		年間観光入込客数	4,503千人 (H26年度)	2016(H28)	4,677,000人	3,831,582人	81.92%	平成30年7月に久大本線が全線開通したものの、猛暑や韓国人観光客の減少が影響して入込客数は伸び悩み、前年と比較して減少となった。国内観光客が減少する中、近年急増するインバウンド観光の更なる誘客促進に向けて、受入環境の整備や情報発信を行っていく。	5,000千人
				2017(H29)	4,784,000人	3,848,573人	80.45%		
				2018(H30)	4,908,000人	3,681,290人	75.01%		
		農産加工の新商品年間開発数 (個) 【農業振興課】 累	— H28年度新規	2016(H28)	2個	4個	200.00%	市の「6次産業サポート事業」の農産加工品開発講座により、3年間で累計11個の新商品が完成したことから、今後は、生産者が出来上がった加工品を販売拡大出来るように関係者と連携し販路拡大に対してサポートしていく。	5年間で8個
				2017(H29)	2個	5個	250.00%		
				2018(H30)	2個	2個	100.00%		
				3か年累計	6個	11個	183.33%		
		商工会議所が発行する貿易関係証明発行件数(件)	10件 (H27年度)	2016(H28)	15件	16件	106.67%	中国を中心とした東南アジアの消費需要の伸びに対応して、輸出に取り組む事業者が増えており、取引件数も目標値を大きく上回っている。引き続き、販路拡大に向けて貿易証明に係る支援を継続していく。	15件
				2017(H29)	15件	35件	233.33%		
				2018(H30)	15件	29件	193.33%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
4	創業の促進	日田市創業支援事業計画に基づく年間創業者数(件)	8件 (H26年度)	2016(H28)	年間13件	26件	200.00%	ビジネスサポートセンターのきめ細かい相談体制や創業機運を醸成するための創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業の取組が成果をあげ、目標を上回る創業者が創出できた。	年間13件
				2017(H29)	年間13件	12件	92.31%		
				2018(H30)	年間13件	19件	146.15%		
		日田市ビジネスサポートセンターの支援による創業者数(件) 累	8件 H28年6月開設	2016(H28)	26件	16件	61.54%	ビジネスサポートセンターのきめ細かい相談体制や創業機運を醸成するための創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業の取組が成果をあげ、目標を上回る創業者が創出できた。	5年間で65件
				2017(H29)	13件	5件	38.46%		
				2018(H30)	13件	18件	138.46%		
				3か年累計	52件	39件	75.00%		
		開業資金の新規融資件数(件数) 累	1件 (H26年度)	2015(H27)	2件	1件	50.00%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等により、H29年度の開業資金利用者はゼロであった。平成30年度より、創業希望者が利用しやすいよう自己資金要件を廃止したこともあり、2件の実績を達成することができた。	5年間で10件
				2016(H28)	2件	3件	150.00%		
				2017(H29)	2件	0件	0.00%		
				2018(H30)	2件	2件	100.00%		
				4か年累計	8件	6件	75.00%		
		女性若者起業支援資金の新規融資件数(件数) 累	7件 (H26年度)	2015(H27)	10件	4件	40.00%	平成30年度は総合ビルメンテナンス業1件、美容整体業1件、サービス業2件の計4件の実績であった。今年度は計画最終年度となるため、目標値に少しでも近づけるよう引き続き金融機関、支援機関と連携した創業支援を行う。	5年間で50件
				2016(H28)	10件	3件	30.00%		
				2017(H29)	10件	2件	20.00%		
				2018(H30)	10件	4件	20.00%		
				4か年累計	40件	13件	32.50%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
5	人材の育成・確保と 事業環境の整備	ジョブカフェおおいた日田サテ ライト登録者の市内企業への就 職者数 (人) 累	59人 (H26年度)	2015(H27)	80人	70人	87.50%	主に有効求人倍率が上昇し、雇用情勢が好転したことにより、登録者が減少したことによるものである。今年度は、高校生と新規卒卒者や一般向けの企業説明会を6月と2月に開催し、併せて企業向けや求職者向けのセミナーを充実し、引き続き各種広報媒体によるサテライトの広報活動に併せ、企業情報を積極的に提供し、新規登録者、市内就職者の増加を図る。	5年間で480人
				2016(H28)	100人	49人	49.00%		
				2017(H29)	100人	59人	59.00%		
				2018(H30)	100人	60人	60.00%		
				4か年累計	380人	238人	62.63%		
		ハローワーク日田管内の高等学 校卒業者で就職希望者の管内就 職率 (%)	35% (H27年度)	2016(H28)	40%	34.53%	86.33%	全国的な人手不足により、県外の大手企業からの求人が増加し、そちらを希望する者が多かった。今後も、高校生を対象とした「ひた・くす合同企業説明会」やキャリア教育を行う「ひたを担う人材育成事業」により管内就職につなげていく。	40%
				2017(H29)	40%	42.46%	106.15%		
				2018(H30)	40%	28.36%	70.90%		
		求職者資格取得支援事業利用者 の市内就職者数 (人) 累	－ H27年度新規	2015(H27)	15人	10人	66.67%	主に有効求人倍率が上昇し、雇用情勢が好転したことにより減少したことによるもの。(求職者の資格取得者数…11人)ハローワークへの登録が条件であることから、今後も引き続きハローワーク窓口での周知をお願いするとともに、ビジネス合コンで周知を図る。売り手市場により、必ずしも資格を有さずとも就職が可能となり、事業の有効性が薄れたことから今年度までの事業とする。	5年間で75人
				2016(H28)	15人	5人	33.33%		
				2017(H29)	15人	10人	66.67%		
				2018(H30)	15人	7人	46.67%		
				4か年累計	60人	32人	53.33%		
		技能検定の年間合格者数 (人)	152人 (H26年度)	2015(H27)	160人	113人	83.13%	前年、前々年と比べると、受験申込者数、合格者数ともに増加している。引き続き技能検定の未取得者に対し、受験を呼びかける。	160人
				2016(H28)	160人	119人	74.38%		
				2017(H29)	160人	116人	72.50%		
				2018(H30)	160人	148人	92.50%		
		日田共同高等職業訓練校の年間 入学者数 (人)	3人 (H26年度)	2015(H27)	3人	3人	100.00%	入学者数は多かったが、年度途中の退学者も多かった。今後も引き続き業界内で呼びかけを行うとともに、広報ひたやホームページ等で当該事業の周知を図る。	5人
				2016(H28)	5人	6人	120.00%		
				2017(H29)	5人	6人	120.00%		
				2018(H30)	5人	11人	220.00%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成30年度)

	基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
5	人材の育成・確保と 事業環境の整備	ハローワーク日田管内の育児休業年間取得者数（人）	173人 (H26年度)	2015(H27)	190人	192人	101.05%	市内企業のワークライフバランスの推進により少しずつではあるが意識付けができていていると思われる。 今後も引き続き、ワークライフバランス及び働き方改革の推進に関する周知を図るため、広報や情報誌にて特集を組むなど有効な方法で引き続き行う。	190人
				2016(H28)	190人	202人	106.32%		
				2017(H29)	190人	198人	104.21%		
				2018(H30)	190人	193人	101.58%		
		U I ターンによる年間就職者数 (人)	－ H28年度新規	2016(H28)	10人	8人	80.00%	売り手市場の現在において、企業に対する奨励金の必要性は薄れているため、新規受付は平成29年度で廃止。企業の意識改革と人材獲得に向けた支援に取り組む。	5年間で70人
				2017(H29)	20人	6人	30.00%		
				2018(H30)	20人	1人	5.00%		
				3か年累計	50人	15人	30.00%		
		日田市シルバー人材センターの 就業率（%）	64.0% (H26年度)	2015(H27)	64.00%	64.60%	100.94%	就業の実績のない会員に対し、就労の意思を確認し、会員登録の整理を行ったことにより就業率が上がった。 しかし登録会員数が減少したため、今年度はセンターと連携を図り、新たな会員獲得に向けた取組を行うとともに、体制の充実に取り組んでいく。	70.00%
				2016(H28)	70.00%	70.70%	101.00%		
				2017(H29)	70.00%	65.90%	94.14%		
				2018(H30)	70.00%	91.10%	130.14%		
		若い世代の結婚・子育ての希望 が実現した場合の合計特殊出生率 【地方創生推進課・こども未来課】	1.76 (H25年度)	2015(H27)	1.76	1.79	101.70%	H30の確定値は未発表であるが、H28からの保育料の軽減や中学生までの医療費無料化をはじめとした経済的支援のほか、一時預かり、病児病後児保育等の実施により子どもを産み育てやすい環境の整備を図っているところであり、今後も引き続き、必要な支援を提供していく。	2.1 (H42年度)
				2016(H28)	1.76	1.79	101.70%		
				2017(H29)	1.76	1.84	104.55%		
				2018(H30)	1.76	1.8	102.27%		